

櫛

岡山大学附属図書館報

OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

NO. 26

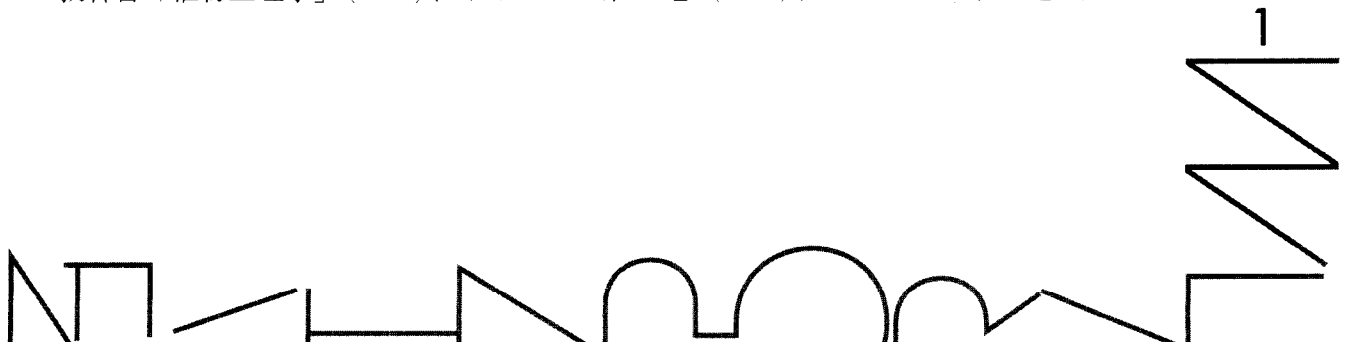
1998
FEBRUARY

資源生物科学研究所分館の利用事情

木村和義

大学附属図書館の今後の課題として、学内の教育・研究支援のための図書、資料の整備、充実とともに、電子ニューメディア等による学外への情報発信、国際化、地域社会への貢献、生涯学習への対応などが考えられております。資源生物科学研究所分館は倉敷市の美観地区の近くにあります。岡山市の津島、鹿田のキャンパスとは離れており、学部の学生の中には岡山大学の附置研究所や図書館の分館があることを全く知らない方もおられるようです。そこで分館の紹介と利用状況について簡単に触れてみようと思います。

資源生物科学研究所分館は、大正3年創設の財団法人大原奨農会農業研究所、その後昭和28年岡山大学に移管された農業生物研究所の図書館を引き継いだもので、約80年にわたって収集された約15万冊の蔵書を有しております。また、農学・生物学に関する図書館としては貴重書も多く、日本で最も充実したものの一つであるといわれております。貴重文庫としてペッファー文庫、大原漢籍文庫、大原農書文庫などがあり、また貴重書として、徐光啓（中国明代の科学者）の「農政全書」（初版本、1639）、マルピーギ（医者、解剖学者）の論文集（1687）、青木昆陽（江戸幕府書物奉行）の「昆陽漫録」（1768）、オーストラリア植物図鑑（凸凹印刷稀書、1873）、パスツール（微生物学者）のビール醸造指導書（1876）、ダーウィン（進化論者）の著書「植物の運動」（1880）、ペッファー（植物学者）の教科書「植物生理学」（1881）、ネイチャー第1巻（1869）、サイエンス第1巻（1883）



などがあり、それらは「楳」3号、21号、23号にも紹介されています。そのほかイタリアのキノコ図鑑（彩色図鑑、マツタケ近縁種について原記載の多い稀書、1834）、明治7年文部省刊行の百科全書「植物生理学」（和綴、1874）などもあります。

平成6年、当分館に「史料館」が竣工以来、貴重図書の書庫や情報検索コーナーが整備され、学内、学外の情報システムのネットワーク化が進められています。古い貴重書、資料を有する一方で、最新情報を扱う図書館として、また地域社会にも開放された図書館としても利用状況も多様化しつつあるのが現状です。当分館の利用状況を紹介しますと、平成8年度の総入館者数は22,310人ですが、うち研究所以外の入館者は822人（学内251人、学外571人）であり、平成6年度376人、平成7年度587人に比べますと年々増加する傾向にあります。学内では生物系の研究室のある学部の利用が多く、農学部が年間約200人、理学部と教育学部が各20人、他の学部が数名程度ですが、ほとんどの部局にわたっております。学外からの来館者は全国各地にひろがっており、県外の大学、試験研究機関、博物館、官公庁などからの来訪者が半数以上です。小中高の教員、会社員、一般市民の入館者は倉敷市が約8割、市以外の県内約1割、県外約1割です。特に、一般市民の入館者が最近増加しています。その中には常連の入館者になっている定年退職者や客員教授夫人、また地域の歴史探訪会、自然観察会などに所属する高齢者、主婦のグループ、さらに倉敷美観地区を訪れた観光客がウェルカムガイドに連れられてグループとして見学に来られる場合もあります。また研究内外からの文献複写依頼は、平成8年度総件数5,776件（学内3,213件、学外2,563件）で、調査件数が721件に達し、小さな図書館のわりには外部からの依頼件数が多いことは分館の蔵書が充実していることを裏付けているようです。

このように当分館は所内、学内にとどまらず、全国的に広く利用されており、最近では一般市民にも多く利用されております。分館には4人の個性ある職員がいますが、皆親切で、サービス精神に富んでおります。是非一度足を運んでいただきたいと願っています。

資源生物科学研究所分館（史料館）入館者

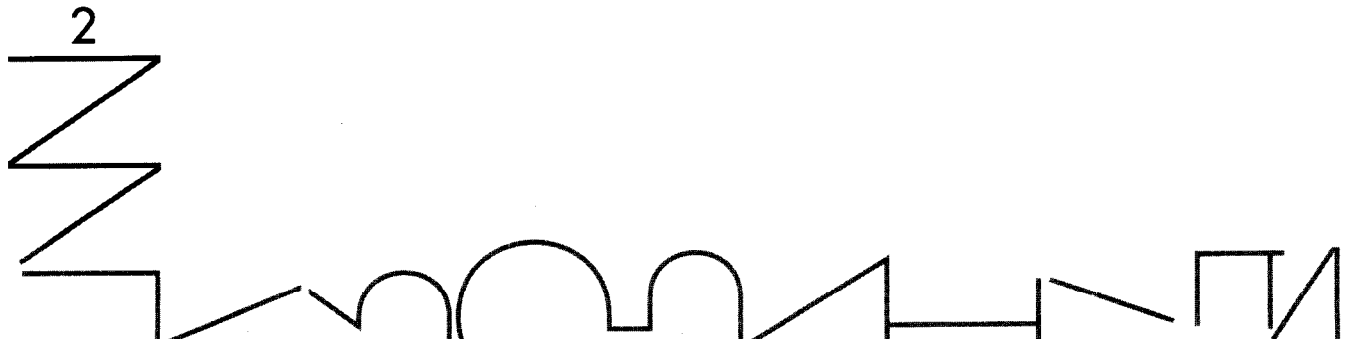
●研究所以外の学内教職員・学生入館者数

年度	文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	環	農	その他	計
6	3	9	1	1	7	2	—	5	8	—	136	27	199
7	6	20	—	—	11	3	1	1	—	1	220	33	296
8	—	20	—	—	18	—	3	1	3	1	186	19	251

●学外入館者数（うち外国人）

年度	他大学	研究機関	博物館等	官公庁	教員	会社等	一般市民等	計
6	21(3)	12	6	14	9	41	74 (1)	177 (4)
7	78(4)	29(4)	4	54	6	39	81 (1)	291 (9)
8	75(7)	11	6	21	4	25	429(159)	571(166)

(きむら・かずよし 資源生物科学研究所分館長)



新図書館システムの構築

橋 本 健 一

図書館電算システムの更新

大学においては近年、研究環境や学習環境が情報化社会のなかで急速に変化している。大学図書館も研究教育支援機関として従来にも増して学術情報の迅速な提供と学習環境の整備が求められている。こうした中で図書館は、平成10年1月に図書館システムの更新を機会に情報ネットワークに適應するUNIX対応システムを導入することにした。技術審査を経て入札の結果、リコーのLIMEDIOシステムを採用した。今回のシステム更新の狙いは、前回の更新時に比べ格段に環境が整った学内LANなどの通信ネットワーク環境を利用して情報アクセスを容易にすることであった。

OPAC（オンライン利用者蔵書目録）検索

今回、図書館のハードディスク上に所蔵データベースを置いて、図書館内の端末や総合情報処理センターに登録しアカウントを持つ学内端末だけでなく、WWW（World Wide Web）ブラウザを持つパソコンについても所蔵情報を24時間検索できるようにした。インターネットを利用する通信機能のあるパソコンであれば、機種を問わず学内・外から検索できる。検索は、コマンドを使用せず操作が容易なGUI（graphical user interface）のWWW版を提供している。検索結果の図書が貸出利用中であれば、貸出中であることを画面上に表示する。雑誌は所蔵だけでなく、新着情報もOPACによって確認できる。

オンラインによる図書購入依頼と文献複写

校費による図書購入と文献複写の依頼は、研究室のWWWのメール機能を持つパソコンからユーザ名・パスワードをオンライン入力することにより、直接図書館に対して必要とする資料の入手依頼ができるシステムである。さらに、平成10年度中に和書、洋書の既刊、新刊、近刊情報を持つ選書データベースを図書発注依頼に際し利用できるよう検討を進めている。選書データベースの利用は、出版情報の早い段階での入手と図書の迅速な取り寄せが可能となり従来に比べ早く利用者に図書を提供することが可能となる。

画像データベースの提供

池田家文庫の絵図類約3千点について、平成8年度以降科研費で撮影したものをCD-ROM化する事業を進めている。大学が所蔵する貴重な学術情報を公開するために、システムの更新を機会にWWWから絵図類目録情報の検索と2,048×3,072pixel、2MBの精度画像をリンクさせて提供することにしている。

今後の課題

既に学術情報の入手を支援するために学術2次情報データベースと電子ジャーナルをネットワーク等により提供をおこなってきた。今回の新図書館システムにより、未所蔵資料の文献複写依頼を迅速かつ容易にできるようにするとともに図書情報についても検索、購入依頼が迅速にでき、利用者に早く図書を提供できるようにするなど図書館の研究教育の支援機能を強化した。今後は、本学が所蔵する図書を有効に利用するために図書データの遡及入力を図って、どこからでも、何時でもOPACによって検索できるようにする必要がある。図書館運営委員会の承認を得ていることから計画的に実現を図りたい。また、電子情報に対応した利用者サービス体制の整備も早急におこないたい。

(はしもと・けんいち 事務部長)

池田家文庫等貴重資料展「絵図にみる岡山城」開催される

吉 見 賢 一

岡山大学附属図書館では、池田家文庫等貴重資料展「絵図にみる岡山城」を、平成9年10月24日から11月2日までの10日間、新館5階特殊資料展示室で開催するとともに、講演会「絵図を読む」を10月25日午後2時から新館1階AV演習室で行いました。以下、その概要について報告します。

池田家文庫等について

岡山大学附属図書館中央館では、学術研究資料として、地元岡山県の江戸時代を中心とした古文献約19万点（古文書・記録類約15万点、和漢典籍約4万点）を所蔵しています。内容は、旧岡山藩主の池田家文庫（古文書・記録類約6万8千点、和漢典籍3万2千点）、旧勝山藩主の三浦家文書（約千点）及び村役人（庄屋、大庄屋）などの家に伝存した地方史料（18家、約9万点）です。これらの総称が池田家文庫等特殊文庫資料です。

このうち、池田家文庫は池田光政が寛永9年（1632）に岡山城に入部して以来、明治4年（1871）廃藩置県になるまでの約240年にわたる膨大な岡山藩藩政史料及び池田家収蔵の図書で、昭和25年3月岡山大学に委譲されたものです。和漢典籍は、主に板本ですが、写本も少なくありません。昭和51年6月に重要文化財に指定された、著者太田牛一自筆の「信長記」（15巻15冊）もその一つです。古文書・記録類は、藩政の機構やその運営の様子、藩士の組織など藩政諸般の事情を知ることのできる史料で、池田氏の領分であった備前一国と備中の一部にまたがる32万石の岡山藩の政治と文化を、解明することが可能です。かつての三百諸侯の内、その藩政史料が完全な形で残されているのは限られ、岡山藩の史料である池田家文庫は、単に一藩の歴史にとどまらず、我が国の封建社会の研究並びに外国封建社会との比較研究において、非常に貴重な資料です。

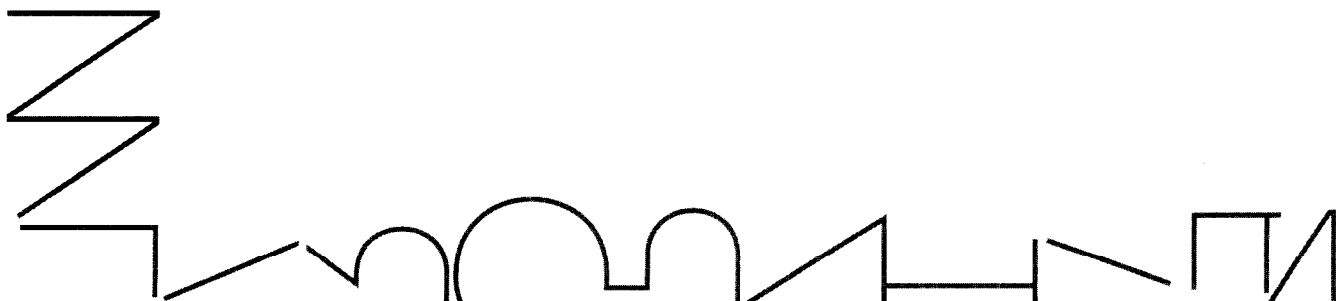
貴重資料展について

これらの史料は、学術研究や授業教材に用いるほか、博物館等での展示に貸出を行っています。しかし、貴重な財産である池田家文庫等の史料を学生、教職員や一般市民が目にする機会はあまり多くありませんでした。附属図書館では、独自に池田家文庫等を広く公開するための展示会を「池田家文庫等貴重資料展」の名称で、昭和52年から56年に開催しましたが、その後、場所の問題もあり中断していました。幸い、昨年4月に待望の新館がオープンし、専用の展示室も設けられましたので、貴重資料展を再開することになりました。

「絵図にみる岡山城」について

昨年は、宇喜多秀家が岡山城天守閣を完成させた慶長2年（1597）から400年目に当たり、多くの記念行事が催されました。この中には、当然、池田家文庫から出品した展示会もありましたが、これらは膨大な池田家文庫から見れば一部にすぎず、今回の貴重資料展再開に当たっては、池田家文庫の中から岡山城関連の絵図を中心に、古文書や古写真も展示し、テーマを「絵図にみる岡山城」としました。

展示は、池田光政入部の頃までの状況を示す展示、岡山城内の建物に関する展示、城郭の修復に関する展示、廃藩後の岡山城に関する展示の4つの部分から構成されました。



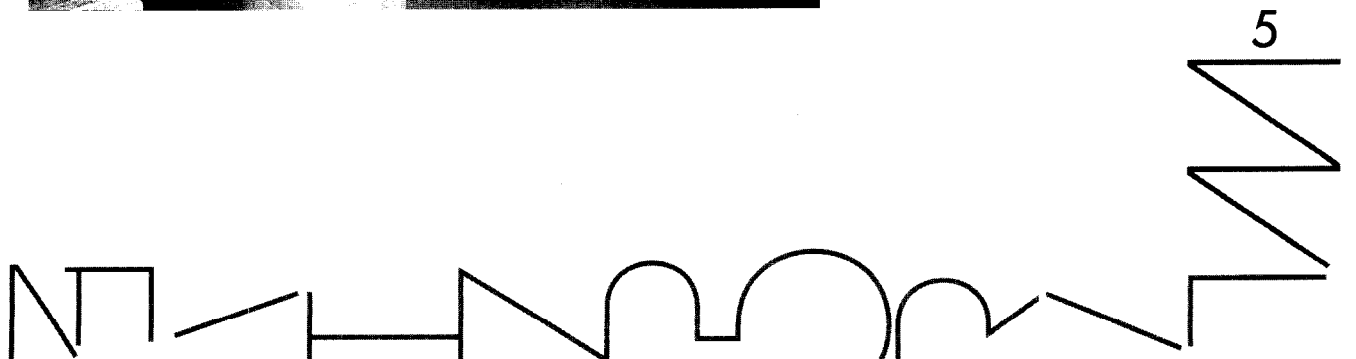
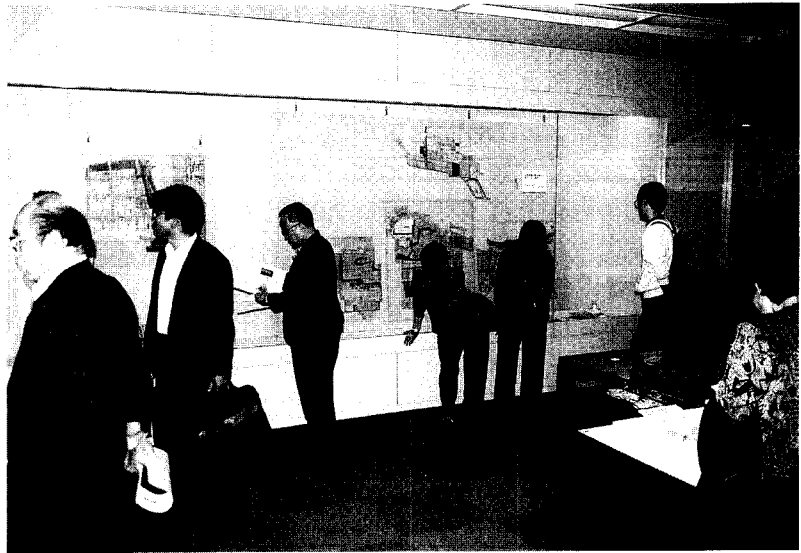
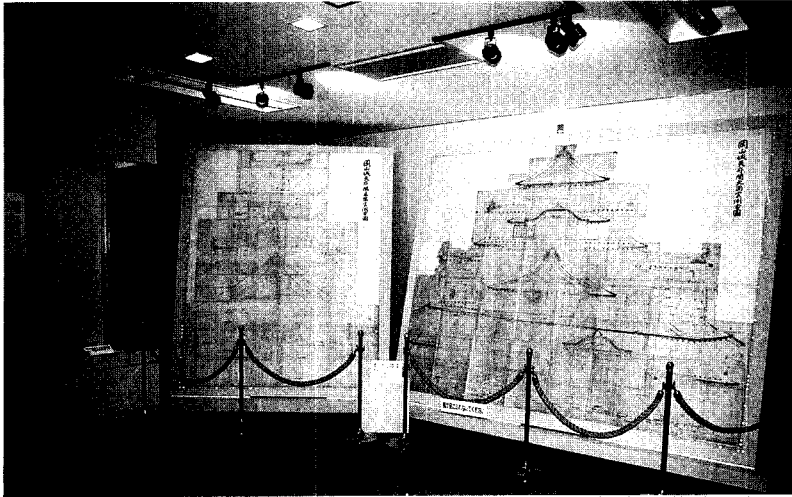


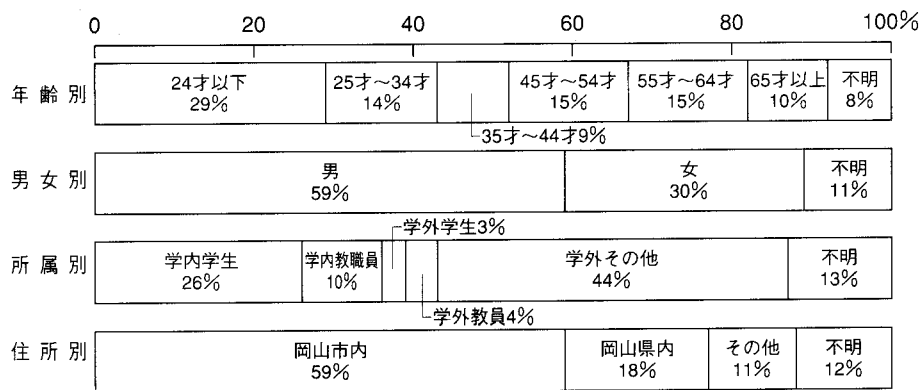
表1 池田家文庫等貴重資料展—絵図にみる岡山城—出品一覧

1	備前軍記 (『吉備温故秘録』 [貴2-4] 所収)
2	備陽国志 (217-11)
3	備前国九郡古図 (※T1-14) [複製]
4	御納戸大帳 (E1-1)
5	岡山城下切絵図 (※T6-8~11)
6	下出石町惣絵図 (※T6-2)
7	岡山城天守閣北面実測古図 (⊕T3-67)
8	岡山城天守閣東面実測古図 (⊕T3-68)
9	御城内御絵図 (※T5-1)
10	御本段惣絵図 (※T5-17)
11	本段泉水見取図 (※T5-150)
12	牙城郭櫓実測図 (※T3-62)
13-1	岡山城郭図 (※T3-66)
13-2	老中連署奉書 (※T7-157-2)
14-1	備前国岡山城廻絵図 (※T7-73)
14-2	老中連署奉書 (※T7-73)
15	岡山城地払下ニ関スル書類 (M3-215)
16	城郭払下書類 (C11-12)
17	岡山城郭千二百分一図 [内山下丈量図 (C11-11) のうち]
18-1	第三高等学校医学部建物及敷地三百分一ノ図 (※T3-348-11)
18-2	三宅貞久宛中村忠書状 (※T3-348-11)
19-1	岡山城古写真 (大納戸櫓・天守閣・内下馬門) (⊕Y1-84 8-(9))
19-2	岡山城古写真 (太鼓櫓・大納戸櫓・重層多聞櫓) (⊕Y1-84 8-(8))

展示会来場者について

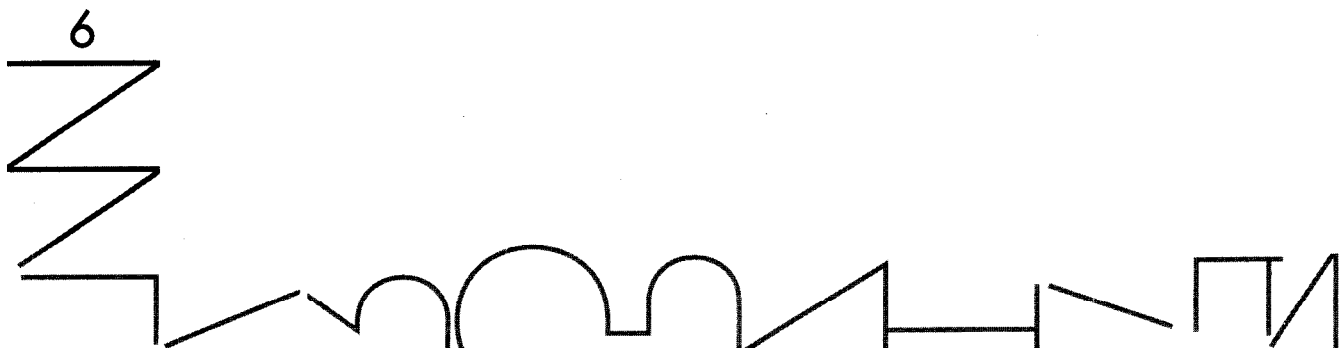
池田家文庫等貴重資料展では入口で来場者名簿への記入をお願いしました。期間中、名簿に記入いただいた506名のほか、授業の一環として3団体45名、また、期間外の10月22日(開学記念日)には名誉教授の方々(79名)など、合計692名に来場いただきました。

図1 来場者(名簿記載者、506名)の内訳



このうち学外から来られた259名について詳しく見てみました(図2)。年齢別では、男性は女性に比べ年齢が多少高く、平均年齢で6才程度の差が予想されます。男女別の住所別では「岡山県外」・「岡山市内を除く県内」とも女性が男性よりも多く、より広い範囲から来られたようです。

*11ページに続く



図書館資料検索の使い方 (保存版)

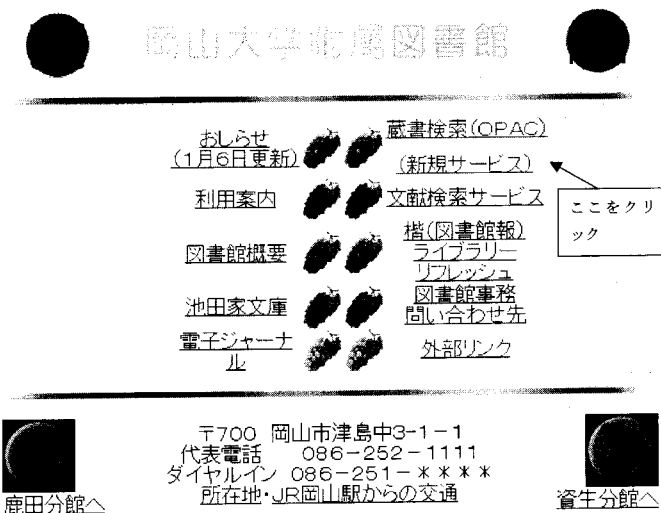
参考調査係

図書館システムの更新により、1月からブラウザを使った蔵書検索が可能になりました。研究室や自宅からも蔵書検索ができます。

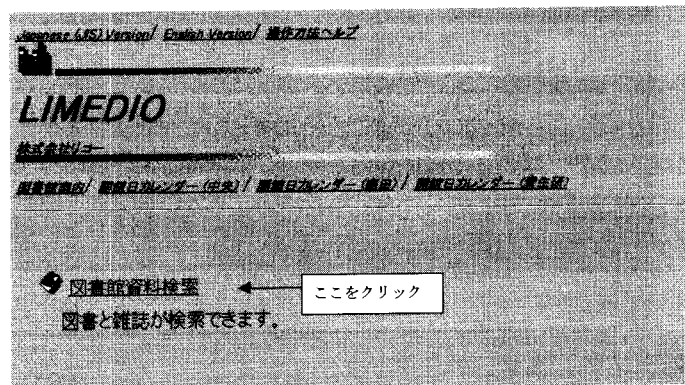
なお、1989年3月以前に受け入れた図書については、これまで通り新館1階奥のカード目録を利用してください。カード目録の見方については、カードボックスの横に表示してあります。

また、この使い方のブラウザはインターネットエクスプローラ3.01を使用して作成しています。お使いのブラウザによって多少表示が違ってきますので、あらかじめご了承ください。

- 1) ブラウザを起動して、図書館のホームページを開きます。
図書館のホームページのアドレス
http://www.okayama-u.ac.jp/user/li/index_li.html
- 2) 蔵書検索 (OPAC) をクリックします。



- 3) 図書館資料検索を選択します。



4) 検索条件を入力します。検索語の入力については10ページを参照してください。

検索開始ボタン

検索条件を指定してから検索ボタンをクリックしてください。

検索条件の一括削除

検索対象
● 全部 ● 図書 ● 雑誌

和洋区分等
● 全部 ● 和書/和雑誌 ● 洋書/洋雑誌

分館
● 全館 ● 中央館 ● 鹿田分館 ● 資生研分館

検索条件

- 書名/誌名: 以下の「すべて」を含む
- 著者名/編者団体名: 以下の「すべて」を含む
- 出版社:
- 請求記号:
- ISSN:

以下の条件は雑誌の検索では無視されます。

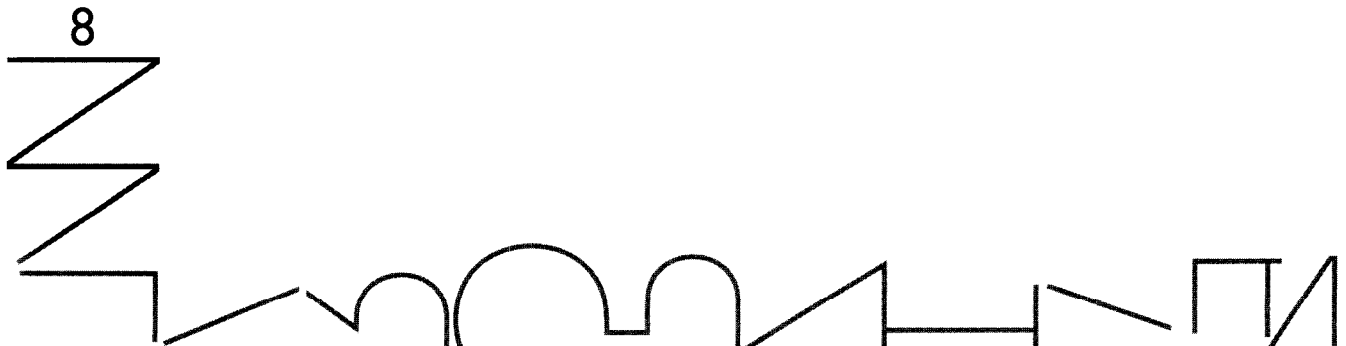
- キーワード: 以下の「すべて」を含む
- 出版年:
- ISBN:
- 新着図書: 日以内

▼をクリックすると、すべて・いずれかを選択できる

1画面で表示しきれない場合は、スクロールする

Copyright (c) 1994, 1997 Ricoh Company, Ltd. All rights reserved.

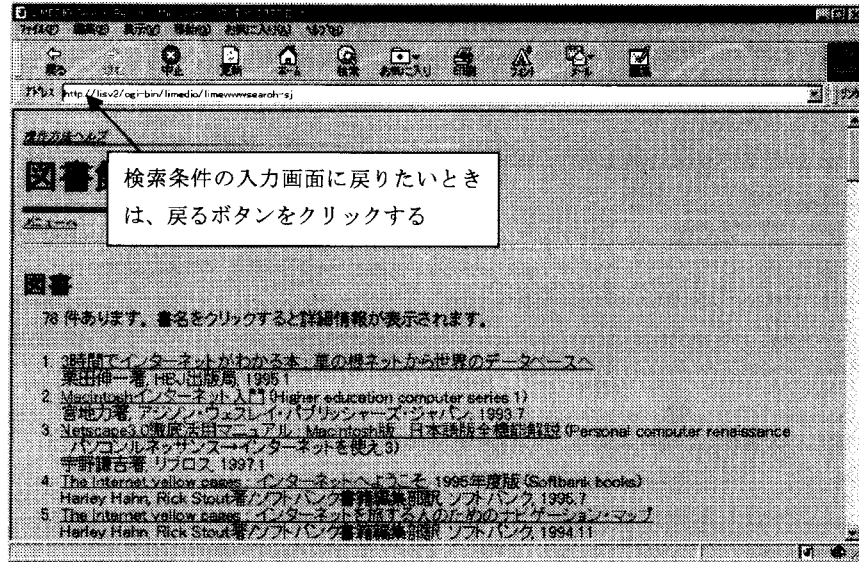
5) 検索ボタンをクリックします。



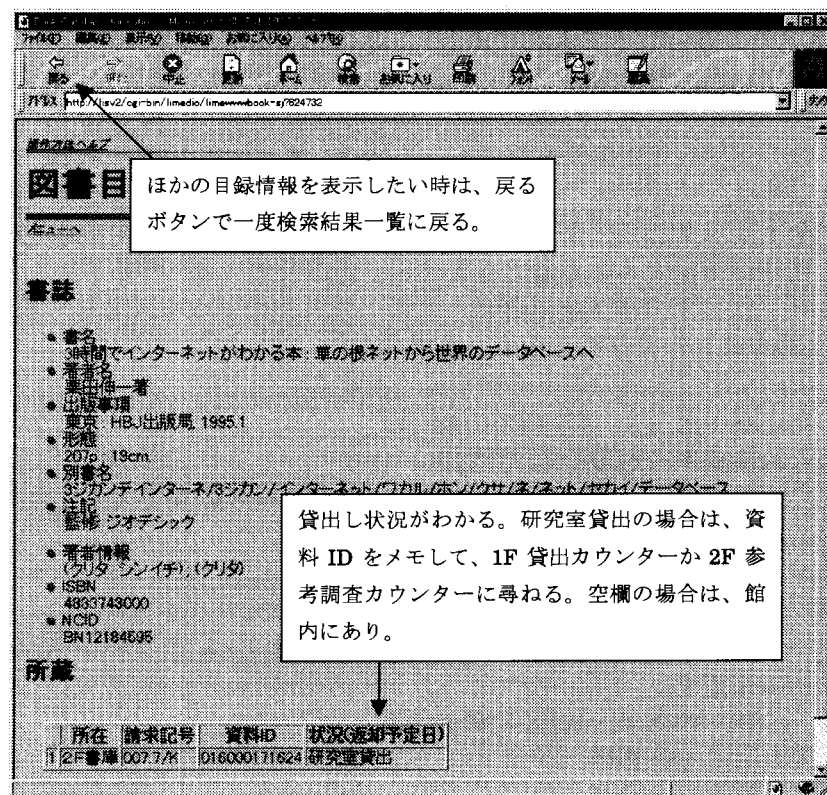
6) 検索結果一覧が表示されます。

詳細を表示するには、一覧の中から見たい資料名をクリックします。もう一度検索し直す際は、ブラウザの戻るボタンで一つ前の画面に戻ってください。

注) 検索できる上限は300件までです。



7) 目録情報が表示されます。



＜雑誌の場合＞

所蔵

6 か所に表示します。

所蔵	請求記号	所蔵年	所蔵巻号
1 学術電子学附属誌	ZF50	1992-1995 15-20	
2 自然雑誌 自然コーナー	ZF50	1992-1996 15-20	
3 学術電子学工学附属誌	ZF50	1997-1972 20-22, 43-50	
4 工学雑誌 工学誌	ZF50	1997-1972 20-22, 43-50	
5 学術電子学工学附属誌	ZF50	1993-1976 24-30	
6 電気電子工学誌	ZF50	1993-1976 24-30	
7 学術電子学工学附属誌	ZF50	1970-1976 41-47	
8 日電子工学誌	ZF50	1970-1976 41-47	

所蔵年と巻号をここで確認してください。
“学総目...” は事務用データなので無視してください。

新着の受入状況がわかります。製本済のデータは未入力のものがありますので、所蔵巻号は所蔵の欄で確認してください。

各号の情報

巻号	発行日	所在	資料ID	受入日	製本状態	状況(在庫予定日)
1 Vol.92 No.2	15 Jan. 1998	伊勢崎 自然コーナー		1998/01/21	未製本	
2 Vol.92 No.1	1 Jan. 1998	伊勢崎 自然コーナー		1998/01/20	未製本	
3 Vol.92 No.12	15 Dec. 1997	伊勢崎 自然コーナー		1998/01/21	未製本	
4 Vol.92 No.11	1 Dec. 1997	伊勢崎 自然コーナー		1997/12/11	未製本	
5 Vol.92 No.10	15 Nov. 1997	伊勢崎 自然コーナー		1997/12/20	未製本	
6 Vol.92 No.9	1 Nov. 1997	伊勢崎 自然コーナー		1997/11/07	未製本	

●検索語の入力について●

○書名/誌名・著者名/編者団体名・出版社名

- ・検索語の入力は表記形（漢字など）でも読み（半角・全角のカタカナ、ひらがな）でもよいです。ただし、出版社については、読みでは検索できません。
- ・英語の大文字・小文字・全角・半角を区別する必要はありません。
- ・仏語・独語の音標符号は、音標符号のついていない文字と同じ文字として検索されます。
- ・検索は任意一致です。前方一致・後方一致・完全一致を行うには、次のように/（半角のスラッシュ）を入力してください。
 前方一致（入力した文字列で始まるものを検索します） 例）/経済
 後方一致（語尾が入力した文字列のものを検索します） 例）経済/
 完全一致（入力した文字列のみものを検索します） 例）/経済/
- ・出版社以外は、検索語は3つまで入力でき、and/or検索ができます（それぞれの項目の▼をクリックして、すべてかいずれかを選択してください）同じ項目内でandとorを同時に指定することはできません。各項目間はand検索されます。
- ・著者名/編者団体名で検索する際は、次のいずれかのように入力してください。
 例）”山岡太郎”の著作物を検索する場合
 例1）山岡太郎（表記の形をそのまま入力する）
 例2）やまおかたろう（読みを入力する）
 ※外国人名は姓のみ入力してください。
 ※表記の形や読み的一部分でもよいです。著者名は3語まで入力できるので、2つの枠に姓と名をわけて入力しても検索できます。

○キーワード

- ・検索語の入力については、上記を参照してください。
- ・キーワード検索では、データ中の書名/誌名・著者名/編者団体名・件名の項目が検索対象となります。

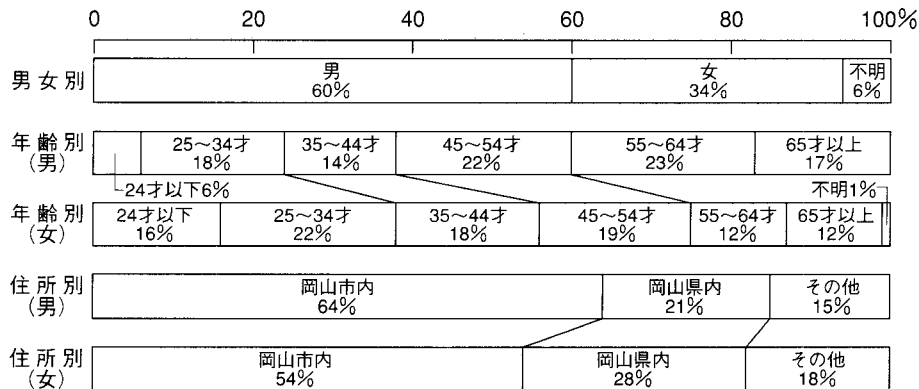
○請求記号・ISSN・出版年・ISBN・新着図書

- ・半角で入力してください。
- ・請求記号は前方一致検索です。



*6ページからの続き

図2 学外来場者(259名)の内訳



会場ではアンケートも実施し、375枚が回収されました。資料展開催の情報は半数の方が「新聞・雑誌・ポスター以外」と答えられ、さらにこの半数の方が、人から聞いた・知らされた・誘われたと答えています。展示点数は「適当」が一番多いものの、解説内容では7割の方が「普通」と答え、「難しい」と「易しい」の差が少なかったことと比較すると、多くの方が展示品の少なさを感じられたと推測できます。ただ、内容に興味があるがそれ以外の理由もあって来られた方は、比較的展示点数の少なさを感じられなかったようです(表2)。解説そのものの不足についての意見も多くありました。ただ、一部には入口で渡した資料に解説があることに気づかれていない方もあるようです。「このような展示会をまた開いてほしい」、「もっと資料を見たい」という意見も多く寄せられました。会場の問題もあり、展示点数の大幅な増加は難しいと思われませんが、来年度以降定期的に本展示会を実施する予定ですので、ご期待下さい。今回いただいた意見も可能な限り反映させたいと思います。

図3 アンケート(375枚)の内訳

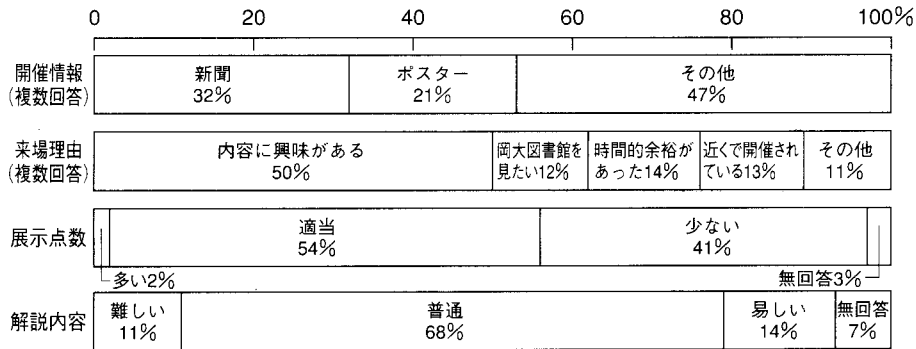


表2 展示内容への興味と展示点数の感じ方

開催情報 展示点数	「内容に興味がある」を選択している			「内容に興味がある」 を選択していない (他を選択)	無回答 (なにも選択していない)	計
	「内容に興味がある」 のみを選択	「内容に興味がある」 を含め複数を選択	計			
多い	2%	0%	2%	0%	—%	2%
適当	23	13	36	18	0	54
少ない	18	7	25	16	—	41
無回答	1	1	2	—	1	3
計	44	21	65	34	1	100
少ない/適当	0.80	0.56	0.72	0.85	—	0.75

—は回答者なしを示す

講演会「絵図を読む」について

今回の展示の中心となった絵図を利用するに当たっては、紙質の劣化（にじみ止めの薬品により起こる）や顔料の剥離等の問題のため細心の注意を必要とし、保存の面から、利用を限定せざるを得ませんでした。また、大きな絵図は、中央部分を詳しくみるような場合など、利用上の問題もありました。

保存と利用の両面から、絵図を画像として電子化し、パソコンで利用できるようにする。さらに、データベース化し、他の情報と関連付けると大変便利に利用することができます。このため、平成8年度より科学研究費補助金を得て池田家文庫絵図類のデータベース化を行っています。

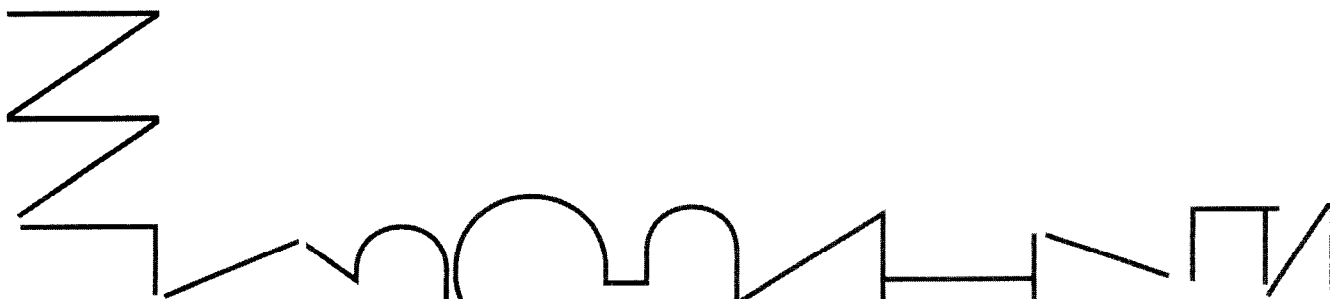
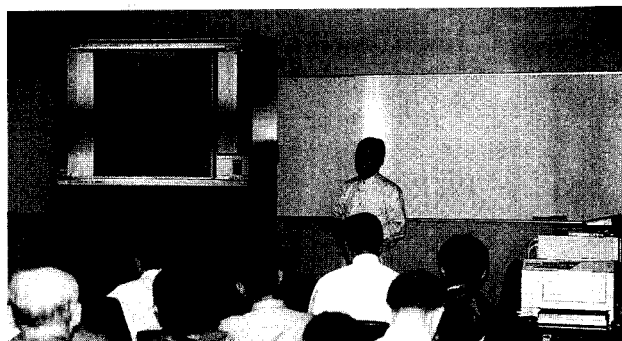
今回の展示品は岡山城に関連した絵図が中心ですが、他にも多くの絵図を所蔵しており、これらの公開と合わせて、絵図類データベース化の成果を公表する場として、講演会を行いました。講師は、本学文学部の倉地克直教授がされました。講演は、備前、備中の国絵図により時代による描き方の違い、国境の確定の根拠としての絵図の利用、岡山と姫路の城下町の作られた時代（背景）の違いによる性格の違いなどが、パソコンの画面を大型テレビ（60インチ）に表示しながら、時には部分を拡大して表示したり、複数の絵図を並べて表示したりと、実際の絵図を見るよりわかりやすく解説されました。

講演会には、当日参加された方も含め、57名の方が参加されました。

（よしみ・けんいち 情報サービス課長）

表3 講演会「絵図を読む」で使用した絵図類データ一覧

1	備前国図	⊕T1-5	(慶長期?)
2	備前国九郡古図	※T1-14	寛永期
3	備前上り絵図控	⊕T1-3	正保2年
4	備前国絵図	⊕T1-20	元禄13年
5	備中国絵図	※T1-30	寛永期
6	備中国絵図	※T1-32	正保2年
7	備中国新御絵図写	⊕T1-21	元禄14年
[日本全国六十余州之図]			(寛永期?)
8	備前国	※T1-61	
9	備中国	※T1-86	
10	陸奥国	※T1-102	
11	出羽国	※T1-108	
12	備前国岡山城絵図	⊕T3-84	正保2年
13	岡山古図	※T6-4	寛永9年
14	姫路城下図	⊕T6-30	池田氏時代
15	姫路城下屋敷割図	⊕T6-29	池田氏時代



池田家文庫等貴重資料展「絵図にみる岡山城」を見て

白井洋輔

池田家文庫の史料9万点という量と、うち約3千点にのぼる絵図の質の凄さは知る人ぞ知るである。文字情報と違って、主観が抑えられ隅々まで大体同じ情報凝縮の濃度で描かれていることもあって、当時の藩作成の絵図は予想以上の情報量と並外れた正確さを持っており、それらは知的探検に誘い込む宝の山でもある。そして絵図全体に通じている背景は、世の中でモノが時代を映して作られるために、モノを見れば時代が分かるようなもので、地図から当時の人が何処へ向かい未知なるものとその憧れの強さを、とりもなおさず、世界観をどのようにその時代の人々が表しているかが汲み取れて面白い。

大きな紙面を使った地図になると、もともと日本の地図と西洋の地図はながめる視点の第一歩が全く異なっている。それは生活の居住空間の利用形態の違いから起こっている。ヨーロッパでは土足で部屋に上がるために大切な地図はそこに置けないので壁に掛けて見る。上が北という約束がそこから生まれた。日本の地図は畳上に置いてみんなで取り囲むようにして見るので上が北と固定していないばかりか、上が南の地図もたくさんある。日本の地図ならよけいに平面展示というものがあってもよいと思う。

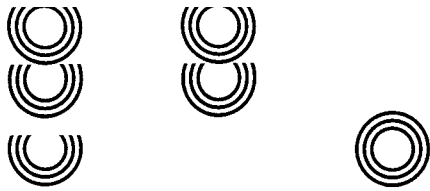
展示点数からすれば今回はやや少ない気もした。ただ膨大な量を所蔵しているのであるから、今後継続して訴えれば問題はない。これを一つのスタートとして、観点をまた色々変えて、例えば地図の持つ絵画的美しさを、圧縮情報による世界観の吐露状況を、文化財的価値や楽しさを訴えていくことであろうか。個々のパンフレット解説については完璧で大いに勉強になった。願わくば作成しつつあるCD-ROMで大学の狙いと取り組みをデモンストレーションして欲しかった。そうすれば大きな絵図もぐっと近づき、市民の間からの新しい発見もまた期待できる。これが、これからの図書館活動の一つである社会との連携と還元につながることは間違い無しである。

マンガに移行する形で社会の文字離れが色々言われているが、絵図はもともとマンガと同じグラフィックで訴えるものであるから、原点の姿はこれだということに戻れて意外に新鮮に受けとれると思う。また日本の地図は劣っていないということもいずれは示してもらいたい。「九郡古図」などは資料的価値だけでなく美術的価値も極めて高い。地図はもともとその時代の世界観、把握程度を示しているが、同時に当時の人間の美意識、情報の取捨選択度も示していて面白い。「行間」と同じように「画間」も結構あるのである。例えばほんの小さな例ではあるが、日本の地図にも等高線を意味した表現もあるから不思議である。地図はそこまで読んでほしい。現況との対比もまた不可欠である。

私は昭和43年法文学部（人文地理学）を卒業し、昭和57年に岡山県立博物館で「古地図」展を主査として担当したが、一枚一枚にといいほど新しい発見をした。仕事の忙しさで忘れかけていたあの発見の感動を今回の図書館の企画を見て呼び起こされた。そして今私は縁あって、文化科学研究科にお世話になっている。6時がきたらパッと切り替えてもう一人の自分になって毎日のように図書館に通っている。幸せにも青春時代を二度体験している。一旦社会に出た者が思いを抱いて帰って来るのを迎えてくれるなど、機会を与えてもらったことに感謝しているこの頃である。

(うすい・ようすけ 岡山県教育庁文化課課長代理)





マスカット

CD-ROM一覧

平成9年度にCD-ROMの見直しがあり、新規購入及び購入中止となったものがあります。現在利用できるのは以下の通りです。

●ネットワーク経由で研究室からも検索ができるCD-ROM

- | | |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------|
| Chemical Abstracts (1997～) | MEDLINE (1966～) |
| Biological Abstracts (1997～) | ERIC (1966～) |
| CCOD (1997.7～) | PsycLIT Journal Articles (1974～) |
| Life Science | PsycLIT Chapters & Books (1987～) |
| Physical Chemical & Earth Science | MLA International Bibliography (1981～) |
| Agriculture, Biology & Environmental Sciences | Gale's Encyclopedia Associations |

●中央館の検索コーナーで利用できるCD-ROM

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| CD-HIASK (1985～) | 通商白書 (平成7年版) |
| 雑誌記事索引 (1990～) | 環境白書 (平成7年版) |
| J-BISC (1969～) | 科学技術白書 (平成7年版) |
| 国立国会図書館所蔵目録 明治期 | 経済白書 (平成5年～7年) |
| Polymeric Materials Encyclopedia | JICST所蔵目録1997 |
| Dictionary of Analytical Reagents | BRITANICA |
| Dictionary of Organic Compounds | 日本子ども家庭総合研究所 子ども家庭DB |
| リーガルベース | 国際協力事業団図書館蔵書目録 |
| 電子広辞苑 (第3版、第4版) | マルチメディア日本の城図鑑 |
| 現代用語の基礎知識 (第3版、95年版) | 日本の食生活全集 |
| 模範六法 (平成2年版、平成7年版) | 新編 国歌大観 |
| 現代日本科学技術者大辞典・現代執筆者大辞典 | 絵図で見る大江戸百科 |
| 理科年表 (平成7年版、平成8年版) | |

●鹿田分館の検索コーナーで利用できるCD-ROM

- Journal of Citation Reports (自然科学編) (1994～)
- 医学中央雑誌 (1987～)

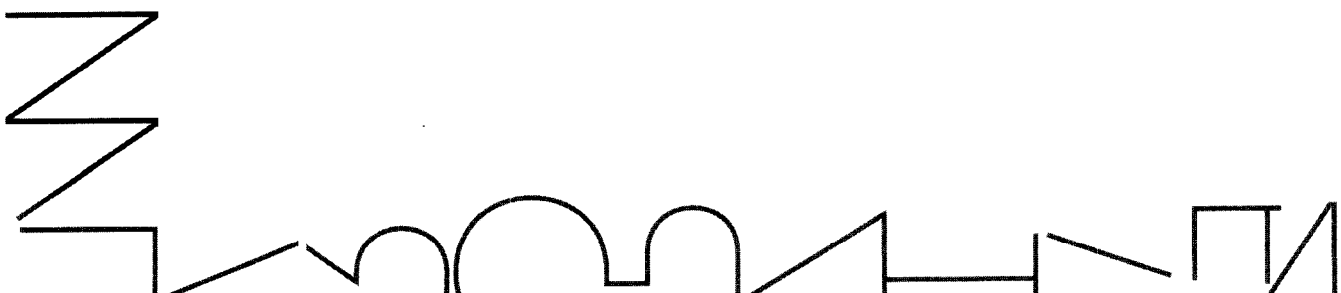
本学名誉教授が新館の施設見学に

10月22日(水)の開学記念日に第27回名誉教授との懇談会が催され、新たに整備された施設見学として図書館新館の見学が行われた。

当日は79名の名誉教授の方々が、おもに新館1階のニューメディアコーナーと5階の特殊資料展示室の池田家文庫等貴重資料展「絵図でみる岡山城」を約1時間にわたり見学された。

池田家文庫等貴重資料展示会と講演会の開催

新館5階に特殊資料展示室が完成したことを機会に岡山城築城400年祭にあわせた展示会と講演会を開催した。



テーマ：「絵図でみる岡山城」

展示史料：岡山城天守閣北面実測古図ほか、計23点

期間：10月24日(金)～11月2日(日) 10:00～16:00

ポスター・展示目録・キャプション等が作成された。入場者は692名でした。

講演会は文学部倉地克直教授が、新館1階AV演習室において10月25日(土)の午後2時～3時半まで、テーマ「絵図を読む」で講演されました。絵図類データベース化の成果をパソコン画面で拡大しながら、解説されました。参加者は定員を越える57名でした。

本展示会及び講演会の開催にあたっては、教育学部上原兼善教授、文学部倉地克直教授、同久野修義助教授をはじめ、岡山県立博物館など多くの方々のご指導、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

図書館システムの変更

平成10年1月5日より図書館システムが更新され、リコーのLIMEDIOになりました。蔵書検索はインターネットの図書館ホームページからできます。

中央館プリペイドカード式複写機の設置

10月7日から、第2部学生等の利用を考え、16時以降も複写利用を可能にするため、プリペイドカード式の複写機を設置しました。設置場所は、本館1階の自然科学系雑誌閲覧室と本館2階の複写・マイクロリーダーコーナーです。備付の複写申込書に記入して、ご利用ください。

医学部卒業生の方々から鹿田分館に図書寄贈

10月28日付けで、平成7年度医学部卒業生一同から、図書館の蔵書を充実し後輩に役立ててほしいと、医学専門書51冊を寄贈していただきました。

すでに一階閲覧室に排架され、活発に利用されています。

会議

◆学外

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>9.9.3～9.4 第38回中国四国地区大学図書館研究集会（於オークラホテル高松及び香川大学附属図書館他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変わりゆく大学図書館一生き残るために、今一 <p>10.16～10.17 平成9年度国立大学図書館協議会中国四国地区協議会実務者会議（於高松テルサ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを使用した各種図書館サービスの展開について、その他 <p>11.13～11.14 第16回大学図書館研究集会（於京都産業大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館時代の大学図書館の生産性 | <p>11.20 平成9年度中国四国地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議（於広島大学附属図書館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第46回中国四国地区大学図書館協議会総会について、その他 <p>11.25～11.26 第10回国立大学図書館協議会シンポジウム（於神戸大学瀧川記念学術交流会館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館の具体化とその経営組織 <p>10.1.22 平成9年度国立大学附属図書館事務部長会議（於静岡大学大学会館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの大学図書館組織について、その他 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



◆学内

- 10.16 平成9年度第3回附属図書館運営委員会
・岡山大学附属図書館資料収集・選定方針(案)について、その他
- 10.30 平成9年度特別図書選定小委員会
- 10.30 平成9年度附属図書館備付「全学共用図書」(人文・社会科学系)選定小委員会
- 10.30 平成9年度附属図書館備付「全学共用図書」(自然科学系)選定小委員会
- 11.10 平成9年度第2回附属図書館広報委員会
・館報「楷」no.26の刊行・編集について

研修 

- ・平成9年度NACSIS-IR地域講習会
参加者 松永さおり 中山栄美子 (9.7.17)
- ・平成9年度岡山大学事務系職員語学研修(英語・初級コース)
参加者 北條充敏 (9.7.17~9.11)
- ・平成9年度目録システム地域講習会
参加者 中山妙子 片山麻衣子 (9.7.22~7.24)
- ・第17回人事院式監督者研修(JST)基本コース
参加者 川上研三 (9.8.26~8.29)
- ・平成9年度大学図書館職員講習会
参加者 本間静一郎 (9.11.11~9.11.14)
- ・学術雑誌総合目録欧文編1998年版全国調査説明会
(於岡山大学自然科学研究科)
参加者 遠矢厚志 志水宏子 寺本智美 片山麻衣子 藤田百合恵 (9.10.28)

おわび


平成9年7月発行(No.25)の4頁掲載「図書館オリエンテーションに参加して」の執筆者のお名前間違がありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤

服部高広

正

服部高宏

編集委員会から 

楷の木もいちょう並木も落葉して、玄関前にある百万冊記念のあくらの赤い実が一段と目立ちます。

新館のエアコンは利用者に快適のようで、夏だけでなく、冬のこの季節にも横になっている方が見うけられます。

システム更新で閲覧室のパソコンからも蔵書検索ができるようになりましたが、4月からの9カ月間にインターネットであちこち飛んだ方、ゲームに熱中された方は、図書館のホームページにも飛び込んでくださるでしょうか。期待したいです。

岡山大学附属図書館報「楷」 No.26 平成10年2月25日

発行人 橋本健一 編集 広報委員会 表紙デザイン・レイアウト 清水國夫

岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市津島中三丁目1-1 電話086-252-1111